

アダルトビデオ出演被害問題に対する警察の取組

取締り等の推進

1 AV出演被害防止・救済法

《検挙事例》

自称自営業の男は、令和5年8月、20代女性に対し、AVへの出演契約を結ぶ際、説明書や出演契約書を交付しなかったもの。

同男をAV出演被害防止・救済法違反で検挙した。 (R6.2 佐賀)

(参考)

AV出演被害防止・救済法違反検挙件数

罰則関連条文施行(令和4年7月12日)～令和6年12月末 41件

2 その他法令

《検挙事例》

○ わいせつ物頒布等

会社員の男らは、令和6年2月、有償で頒布する目的で、男女の性交場面を撮影したわいせつな動画ファイルを保管したもの。

同男らをわいせつ電磁的記録有償頒布目的保管で検挙した。

(R6.7 警視庁)

○ 私事性的画像被害防止法

無職の男は、令和5年5月及び同年10月、SNS等で知り合った女性の性的な動画データをインターネット上に投稿して販売したもの。

同男を私事性的画像被害防止法違反で検挙した。 (R6.2 愛知)

※取締りのほか、関係機関の窓口紹介等を実施

広報・啓発等

- 大学・高校、企業等における啓発活動、警察署員への部内講義等
- 駅、公共施設、ケーブルテレビ、ラジオ等における被害防止広報